

○歯科補綴学 2 : 531-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	*河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学修目標 (GIO) と単位数	単位数 : 3 単位 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～②の平均 : 50%) , および実習 (実習評価 : 50%) の合計。講義・実習それぞれ 1 / 5 以上欠席した場合、評価点は 0 - 60 点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*小林 平 (クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学)

学修ユニット学修目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	*小林 平、*村上 洋、*大村 祐史、*北川 剛至、*田中 孝明、*内堀 聡史、*青木 直子、*加藤 由佳子、*上里 ちひろ、*三浦 千晶、*中島 正、※渡辺 官、※増田 美樹子
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第5版 矢谷博文 ほか 医歯薬出版
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～②の平均 : 50%) , および実習 (実習評価 : 50%) の合計。講義・実習それぞれ 1 / 5 以上欠席した場合、評価点は 0 - 60 点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。ブリッジの製作法を通じて、適合の良いブリッジを製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインストルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。ブリッジの作製過程および手技を学習し、臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものである。進んで学習し実習を行うこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	<p>【授業の一般目標】 ブリッジの診断から装着までの診療の流れについて理解する。 ブリッジの臨床的意義と重要性について理解する。 ブリッジの種類と特徴を理解する。 ブリッジの適応症を理解する。 ブリッジの支台装置の種類と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジの診断から装着までの診療の流れを述べることができる。 3. ブリッジの臨床的意義と重要性について説明できる。 4. ブリッジの種類と特徴を述べることができる。 5. ブリッジの適応症を述べるができる。 6. ブリッジの支台装置の種類と特徴を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目 : 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間 : 30分 ・事後学習項目 : 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間 : 90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p>	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジ補綴学の定義 ブリッジの診療の流れ ブリッジの種類と特徴	3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ①①クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ②クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ③クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小林 平
2019/04/05 (金) 3時限 13:10~14:40	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3. 個人トレー製作のための適切なトレーレジンの操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-4 歯質と歯の欠損の治療 ⑥精密印象採得 (寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象) の各基本的操作を実施できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/04/05 (金) 4時限 14:50~16:20	個人トレーの製作	【授業の一般目標】 個人トレーの目的を理解し、正確に製作する技術を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジの精密印象を採得できる適切な個人トレーの設計ができる。 3. 個人トレー製作のための適切なトレーレジンの操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/04/12 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの支台歯形成 前処置	【授業の一般目標】 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/12 (金) 2時限 10:40~12:10	ブリッジの支台歯形成 前処置	<p>歯冠補綴処置における前処置を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 有髄歯の特徴を述べることができる。 3. 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 4. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。 5. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 6. 歯冠補綴処置の前処置を述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小林 平
2019/04/12 (金) 3時限 13:10~14:40	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性和方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 4. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。 5. ブリッジの支台歯形成を行うことができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/04/12 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 ブリッジ支台歯形成時の平行測定の必要性和方法について理解する。 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を理解する。 適切な支台歯形成を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 小臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 3. 大臼歯全部金属冠の支台歯形態を図示し、歯質の削除ができる。 4. ブリッジ支台歯形成時の平行測定ができる。 5. ブリッジの支台歯形成を適切に行うことができる。 	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/12 (金) 4時限 14:50~16:20	ブリッジの支台歯形成	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/04/19 (金) 2時限 10:40~12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】</p> <p>プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 3. プロビジョナルレストレーションの要件について述べるができる。 4. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 5. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>*田中 孝明</p>
2019/04/19 (金) 3時限 13:10~14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】</p> <p>プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 3. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4. ボンティックの基底面形態を正確に付与できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室：実習</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/19 (金) 3時限 13:10～14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/04/19 (金) 4時限 14:50～16:20	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 ボンテックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 3. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 4. ボンテックの基底面形態を正確に付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/04/26 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類, 分類について理解する。 正確な印象採得に必要な器具, 方法について理解する。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象採得の目的について述べることができる。 3. 印象材の種類, 分類について述べることができる。 4. 正確な印象採得に必要な器具, 方法について述べることができる。 5. 歯肉圧排の目的, 方法について述べることができる。 6. ブリッジの咬合採得の方法について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間: 90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	<p>*田中 孝明</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/26 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの印象採得・咬合採得	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	* 田中 孝明
2019/04/26 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの印象採得	【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	* 小林 平 * 村上 祐史 * 大村 剛至 * 北川 孝明 * 田中 直子 * 青木 聡史 * 内堀 由佳子 * 加藤 ちひろ * 上里 千晶 * 三浦 官 渡辺 美樹子 増田
2019/04/26 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得	【授業の一般目標】 印象材の練和ができる。 個人トレーを用いた精密印象採得法を行うことができる。 精密印象採得に必要な器具, 方法について説明できる。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 印象材の練和ができる。 3. 個人トレーを用いた精密印象採得の操作ができる。 4. 精密印象採得に必要な器具を正確に使用し, 精密印象採得ができる。 5. 歯肉圧排ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	* 小林 平 * 村上 祐史 * 大村 剛至 * 北川 孝明 * 田中 直子 * 青木 聡史 * 内堀 由佳子 * 加藤 ちひろ * 上里 千晶 * 三浦 官 渡辺 美樹子 増田

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/26 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得	E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/10 (金) 2時限 10:40～12:10	顎間関係の決定と記録	<p>【授業の一般目標】 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について理解する。 少数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 多数歯欠損の場合の咬合採得法について理解する。 フェイスボウトランスファーの意義と方法について理解する。 チェックバイト法の意義と方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合採得に用いる材料と特徴、方法について説明できる。 3. 少数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 4. 多数歯欠損の場合の咬合採得法について述べるができる。 5. フェイスボウトランスファーの意義と方法について説明できる。 6. チェックバイト法の意義と方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	*大村 祐史
2019/05/10 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は残存歯の咬頭嵌合位で行うことを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 2. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/10 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの印象採得・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 欠損歯数の違いによって咬合採得法が異なることを理解する。 ブリッジの咬合採得は咬頭嵌合位で行うことを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. パラフィンワックスを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。 3. シリコンを用いた咬頭嵌合位の採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/17 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型の製作 作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 作業模型の重要性について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 ブリッジの作業模型の種類と特徴について理解する。 作業模型を咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業模型の重要性について説明できる。 3. ブリッジの作業模型の要件について述べるができる。 4. ブリッジの作業模型の種類と特徴について述べるができる。 5. 作業模型を咬合器に付着できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	*大村 祐史
2019/05/17 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2. 要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3. ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/17 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/17 (金) 4時限 14:50～16:20	作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具について理解する。 ブリッジの作業模型の要件について理解する。 歯型可撤式模型について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.ブリッジ製作のための作業模型に必要な材料および器具を使用できる。 2.要件を満たしたブリッジの作業模型を製作することができる。 3.ブリッジ製作のための歯型可撤式模型を製作することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/24 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合器・顎運動	<p>【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 生体と咬合器との関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.フェイスボウトランスファー、チェックバイトについて述べることができる。 3.咬合器の種類と特徴について説明できる。 4.生体と咬合器との関係について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> *小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/24 (金) 2時限 10:40～12:10	咬合器・顎運動	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	*小林 平
2019/05/24 (金) 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 g 患者情報の記録と伝達</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/24 (金) 4時限 14:50～16:20	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 作業模型を正確に咬合器に付着する方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型を正確に咬合器に付着するための要領を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/24 (金) 4時限 14:50～16:20	作業模型の咬合器 付着	⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/31 (金) 2時限 10:40～12:10	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点について説明できる。 3. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 4. ろう型の要件について説明できる。 5. 解剖学的形態を図示できる。 6. ボンテック基底面形態の種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	*北川 剛至
2019/05/31 (金) 3時限 13:10～14:40	歯型の調整 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンテック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したボンテック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/31 (金) 3時限 13:10～14:40	歯型の調整 ワックスアップ	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/05/31 (金) 4時限 14:50～16:20	歯型の調整 ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯型調整の目的・方法および歯型調整による欠点を理解する。 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ボンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な歯型の調整ができる。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したボンティック基底面形態を付与できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/07 (金) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験・ 解説講義	【授業の一般目標】 平常試験までの授業内容を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 8回の講義内容から筆記問題で100問程度を出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	*小林 平
2019/06/07 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	ワックスアップ	<p>ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/07 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/14 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没 鑄造 ろう着 熱処理 研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着の手順について理解する。 ろう着用のろうに性質について理解する。 鑄造用合金の熱処理について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 3. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。</p>	*田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/14 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没 鑄造 ろう着 熱処理 研磨	<p>4. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 5. 研磨用機器、材料について述べるができる。 6. 一塊鑄造法とろう着法の違いについて説明できる。 7. ろう着の手順について述べるができる。 8. ろう着のろうに性質について述べるができる。 9. 鑄造用合金の熱処理の方法と利点について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	* 田中 孝明
2019/06/14 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	* 小林 平 * 村上 洋 * 大村 祐史 * 北川 剛至 * 田中 孝明 * 青木 直子 * 内堀 聡史 * 加藤 由佳子 * 上里 ちひろ * 三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/14 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 2. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習</p>	* 小林 平 * 村上 洋 * 大村 祐史 * 北川 剛至 * 田中 孝明 * 青木 直子 * 内堀 聡史 * 加藤 由佳子 * 上里 ちひろ * 三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/14 (金) 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	<p>有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/06/21 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付金属冠	<p>【授業の一般目標】 陶材焼付金属冠の製作手順と特徴を理解する。 陶材焼付金属冠の適応症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 陶材焼付金属冠の製作手順を述べることができる。 3. 陶材焼付金属冠の適応症を述べるができる。 4. 陶材と金属の結合について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*田中 孝明</p>
2019/06/21 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/21 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスアップ	ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/21 (金) 4時限 14:50~16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 ワックスアップに必要な解剖学的形態について理解する。 ポンティック基底面形態の種類と特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう型採得に使用する器具の使用法を習得し、変形の少ないろう型形成ができる。 3. 欠損部位に適したポンティック基底面形態を付与できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 特になし。 ・事後学習時間: 0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室: 実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平 *村上 祐史 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/28 (金) 2時限 10:40~12:10	CAD/CAM冠 ファイバーポスト による支台築造 デジタルデンティストリー	【授業の一般目標】 歯冠補綴領域におけるCAD/CAM冠や、ファイバーポスト応用の支台築造などの先端医療分野について、必要な知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CAD/CAM冠の特徴について説明できる。 3. ファイバーポスト応用の支台築造について説明できる。 4. デジタルデンティストリーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間: 30分 ・事後学習項目: 授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間: 90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/28 (金) 2時限 10:40～12:10	CAD/CAM冠 ファイバーポスト による支台築造 デジタルデンティ ストリー	3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平
2019/06/28 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鋳造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鋳造操作を適切に行うことができる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平 *村上 祐史 *大村 剛至 *北川 孝明 *田中 直子 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/06/28 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鋳造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鋳造操作を適切に行うことができる。 5. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、	*小林 平 *村上 祐史 *大村 剛至 *北川 孝明 *田中 直子 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/28 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/07/05 (金) 2時限 10:40～12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 ブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 3. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 4. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 5. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 6. ブリッジ領域における感染予防対策について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。	*大村 祐史
2019/07/05 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習 【学修方略（LS）】	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/05 (金) 3時限 13:10～14:40	埋没 鑄造	<p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/07/05 (金) 4時限 14:50～16:20	埋没 鑄造	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 埋没操作を適切に行うことができる。 3. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. 鑄造操作を適切に行うことができる。 5. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/07/12 (金) 2時限 10:40～12:10	インプラントの歯 冠補綴装置	<p>【授業の一般目標】 インプラントによる歯冠補綴装置について必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療の歴史を説明できる。 3. インプラント材料と生体反応を説明できる。 4. インプラントの基本構造を説明できる。 5. インプラント応用歯冠補綴装置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	<p>*北川 剛至</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/12 (金) 2時限 10:40～12:10	インプラントの歯冠補綴装置	<p>マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ⑤口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*北川 剛至
2019/07/12 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コアー採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコアー採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/07/12 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コアー採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコアー採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略 (L S)】</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/12 (金) 4時限 14:50～16:20	ろう着用コアー採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子
2019/07/19 (金) 2時限 10:40～12:10	ブリッジの口腔内 試適 仮着 合着 アフターケア 不良補綴物	<p>【授業の一般目標】 ブリッジの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。 不良補綴物が原因となる症状について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブリッジの口腔内試適の手順を述べることができる。 3. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 4. 合着用セメントの種類と性質について述べるができる。 5. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 6. 術後管理の内容および重要性について述べるができる。 7. 不良補綴物が原因となる症状について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*大村 祐史
2019/07/19 (金) 3時限 13:10～14:40	ろう着用コアー採得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコアー採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/19 (金) 3時限 13:10~14:40	ろう着用コア一採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/07/19 (金) 4時限 14:50~16:20	ろう着用コア一採 得 ろう着用埋没 ろう着	<p>【授業の一般目標】 一塊鑄造法とろう着法のそれぞれの利点・欠点について理解する。 ろう着用のろうの要件について理解する。 ろう着法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着間隙を適切に求めることができる。 3. ろう着のためのコア一採得ができる。 4. ろう着のための正しい埋没操作ができる。 5. 正しいろう着操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*小林 平 *村上 洋 *大村 祐史 *北川 剛至 *田中 孝明 *青木 直子 *内堀 聡史 *加藤 由佳子 *上里 ちひろ *三浦 千晶 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2019/08/30 (金) 2時限 10:40~12:10	第2回平常試験・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験①から以降の講義内容について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 平常試験①以降の6回の講義内容から筆記試験100問程度を出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。</p>	<p>*小林 平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/30 (金) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験・ 解説講義	⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	*小林 平
2019/08/30 (金) 3時限 13:10～14:40	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、 生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で きる。</p>	*小林 平 *村上 祐史 *大村 剛至 *北川 孝明 *田中 直子 *青木 聡史 *内堀 由佳子 *加藤 ちひろ *上里 千晶 *三浦 官 渡辺 美樹子 増田
2019/08/30 (金) 4時限 14:50～16:20	ブリッジの調整 研磨 完成	<p>【授業の一般目標】 ろう着後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. ろう着後の研磨操作が適切にできる。 3. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 4. ブリッジの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 5. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：実習書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：特になし。 ・事後学習時間：0分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室：実習 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的（力学的性質と熱的性質を含む）、化学的（溶解性を含む）、 生物学的（生体活性、副作用を含む）性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で きる。</p>	*小林 平 *村上 祐史 *大村 剛至 *北川 孝明 *田中 直子 *青木 聡史 *内堀 由佳子 *加藤 ちひろ *上里 千晶 *三浦 官 渡辺 美樹子 増田